

オオバナミズキンバイの除去活動

～平成27年度～

独立行政法人 水資源機構
琵琶湖開発総合管理所 環境課

2

1. 津田江排水機場でのオオバナミズキンバイの除去活動

日 時：平成27年12月9日(水)

場 所：津田江排水機場の呑口周辺(津田江内湖)

作業者：水機構職員28名、滋賀県職員2名、その他10名

概 要：

津田江内湖(草津市)の津田江排水機場吸水槽前に大量の水草(オオバナミズキンバイ)が繁茂し、内水排除時に大量の水草を吸い込み、排水機場が機能しなくなることが懸念されたため、繁茂している水草の除去を行った。



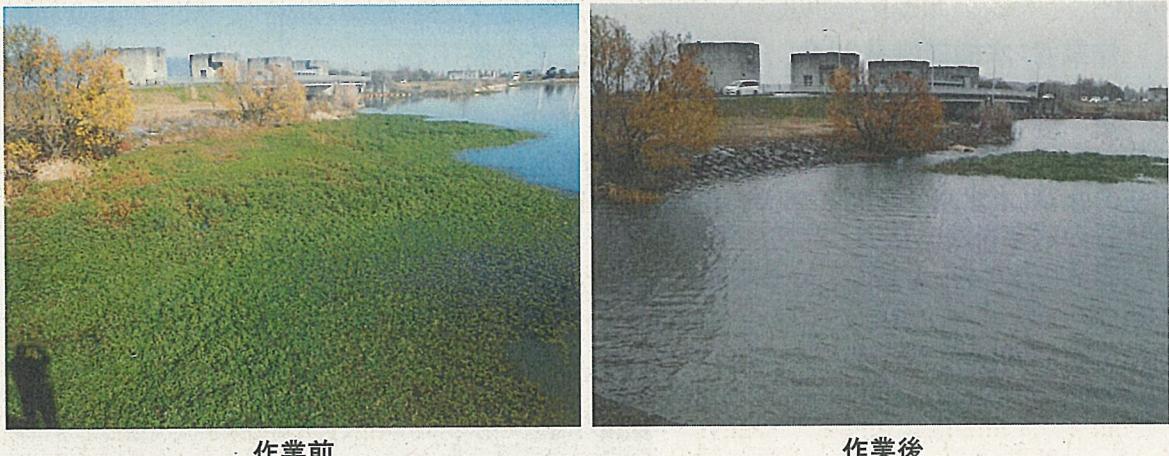
除去活動の状況

除去したオオバナミズキンバイは、陸揚げ後にブルーシートの上に集積し、大型土のうに詰め、県の指定する仮置場まで運搬。



作業前後の状況

排水機場前のオオバナミズキンバイを概ね除去。



※一部、残った分については、12月24日、25日に滋賀県にて撤去。

2. 新浜ビオトープ内のオオバナミズキンバイの除去活動

日 時: 平成27年11月5日、12月8日、15日

場 所: 新浜ビオトープ内

作業者: 水機構職員 3~5名

概 要:

新浜ビオトープ(草津市新浜町)において、琵琶湖からポンプ給水している吐出口付近で、オオバナミズキンバイが繁茂していたことから、ビオトープ内の水を抜いた冬期に、職員により繁茂していた範囲の半分程度を除去。



平成27年9月の状況



ポンプ呑口での繁茂状況



ポンプ吐出口周辺での繁茂状況

平成27年11月の状況



ビオトープ内の水を抜いた状態



オオバナミズキンバイの状況